福井大学

【NO39 福井大学】

	福井大学 保健系分野(看護学・医療技術学、学際・特定)
学部・研究科名	医学部看護学科(第1年次:60名、第3年次:10名) 医学系研究科(M:12名)
沿 革 · 設 置 目 的	福井医科大学医学部医学科が設置され、平成9年、看護学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部看護学科が設置されたのち、平成15年(2003年)、旧福井大学との統合により福井大学医学部看護学科として設置された。
	昭和53年(1978年) 福井医科大学医学部医学科設置 <u>平成9年(1997年) 医学部看護学科設置</u> 平成13年(2001年) 大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程) 設置 平成16年(2004年) 国立大学法人に移行
強みや特色などの 役割	○ 福井大学の理念等に基づき、高い倫理観と高度な専門知識・技術を有し、グローバル社会において、高度専門職業人として活躍でき、地域社会のニーズに対応できる看護職、看護学教育者、研究者を育成する。特に、急速な高齢化社会に対応する多職種協働による在宅医療を推進し地域医療の核となる人材を養成する。
	○ グローバルスタンダードに即した質の高い看護教育を推進し、大学院において、専門看護師等の高度な看護職を育成すると共に、認定看護師の育成や再就業を目指す潜在看護師、新卒看護師や就業看護師のキャリアアップに対する教育・研修を提供し、地域の看護人材の資質向上に貢献する。
	○ 災害看護研究、救急・災害に強い高度専門職業人の養成などのこれまでの実績を活かし、福井県と連携して、災害時の支援、超高齢化・過疎化の進む地域社会の人々の健康生活の支援、在宅医療システムの構築等を推進して、地域医療に貢献する。